

4/21、課題研究英語発表会が開催されました



去る4月21日(水)6~7限時、小体育館で3年生の旧理系2コース選択者20名8グループによる**課題研究英語発表会**を開催しました。2年次のKSP IIで研究したことを英語ポスター1枚にまとめ、ポスターセッション形式で行いました。例年は大学や地域の運営指導委員や他のSSH校の教職員の皆様からも参観・評価を頂いていましたが、コロナ禍のため、聴衆は発表者以外の3年生と教職員のみとしました。

発表者は、2月にアルフォーレで行われた課題研究発表会の発表内容を基に、3月から準備を進めてきましたが、2月のステージ発表よりもコンパクトに、かつ研究内容がわかるように英文でポスターにまとめ、発表・質疑応答も英語でしなければならないため、準備に大きな苦労があったようです。また、聴衆者も、英語での発表内容を理解し、英語で質問するのは難しいと感じたようでしたが、積極的に質問をしていました。

英語の授業以外で、日常の場で英語を使う機会はほとんどなく、「**試行錯誤しながら英語を使う体験**」をしたことは、生徒達にとって**学校で習った知識を「使える知識」にするための練習**になり、英語の学習以外でも様々な面でこの経験は活かされてくるものと期待しています。



■ 発表した生徒の感想

- 英語発表をすることで、普段、英語の授業以外では使わない英語を、準備・英語科の先生やALTからの指摘・練習・発表・質疑応答など、たくさんの場面で英語を使う機会がありました。特に今日の質疑応答の時間には、事前に準備することができないので、すぐに英語を考えて答えるという良い経験ができたと思います。
- 日常活動ではこのような機会は与えられないので、学校側からこのような貴重な経験をさせていただいてとてもありがたいと思いました。うまく発表できなかったからこそ、もっと勉強をがんばりたいと思えたこと、そして、実際に海外の方たちに発表するとなった時にこの経験は生かせると思った。

■ 聴衆として参加した生徒の感想

- 私は4つの発表を聞いて、内容を理解する力と英語を理解する力を両方発揮することに少し苦戦してしまいました。しかし自分なりにキーワード集を使って単語を理解したり、聞いているときにメモをして、終わった後に振り返って納得するなどの工夫ができて良かったです。また、質問をした時にどうすれば相手にすぐ理解してもらえる文にできるかなど、自分の言葉(英語)で伝えるという経験とスキルを上げることができたので良かったです(文系生徒)。
- 時間をかけた研究内容を日本語でまとめるのも大変なのに、しっかり英語でまとめてあり、かつわかりやすいスピーチでとてもよかったです。英語が苦手な自分でも何とか概要を理解できたとし、質問にも即席で英語で応答していて、とても素晴らしい発表だった。(理系生徒)